

メイド イン アフリカ ～自立のための一村一品運動



JICAアフリカ部調査役 山本愛一郎
Yamamoto.Aiichiro@jica.go.jp

地域開発の手法

○外発型の地域開発

○内発型の地域開発

※一村一品運動 = 内発型の地域開発
The One Village, One Product Movement = OVOP

地域開発の手法

○外発型の地域開発

- ・他の地域や国から企業を誘致し、新しい企業を興したり、政府の公共事業を通じた供給主導の地域開発理論。

- ・これらの投資による利益は、貧しい人々にも滴り落ちる。

地域開発の手法

○内発型の地域開発

- ・地域にある資源・文化・技術を活用して地域経済を活性化する手法
- ・生産物の販売先は地域の市場が中心
- ・セクター横断的で総合的な開発
- ・生産から消費までの全ての段階で地元経済に裨益する。
- ・地域、コミュニティの自立、参加、オーナーシップに基づく開発

一村一品運動の起源

- ・一村一品運動は、1970年代大分県において当時の平松知事のリーダーシップのもとで、村起こし運動の一環として始まりました。

- ・一村一品運動は、各村で作る自慢の一品を日本や世界の市場に売り出すことで、自分たちの村や町のよさを再発見しようとする精神的運動です。

- ・一村一品運動は、精神的な運動ですが、その内容をわかりやすくアピールするために「一村一品運動」と名づけました。

大分一村一品：乾しいたけ

生産量

1,410+

生産額

56億円：

(2004)

国内生産シェア

34%



大分一村一品：カボス

生産量 (2003)

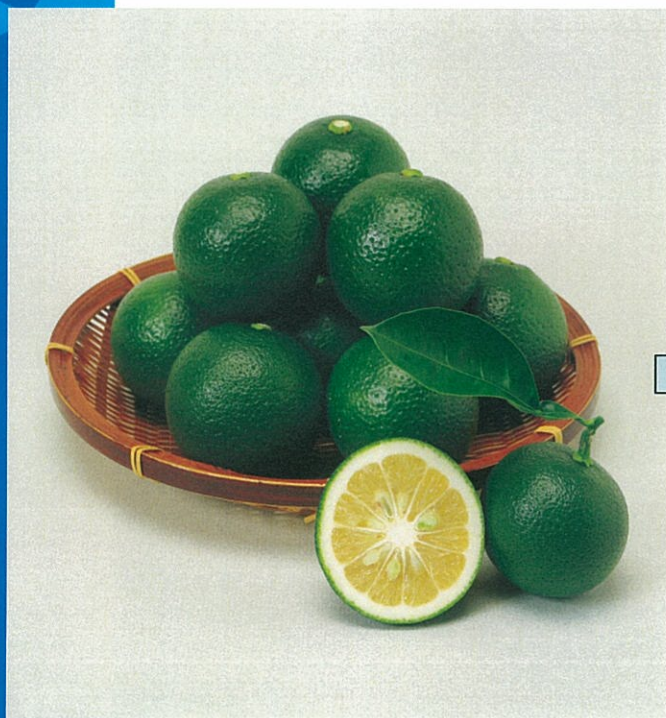
4, 550t

生産額

10億1400万円

国内生産シェア

ほぼ100%



カボスの多様な加工品



大分の一村一品女性グループ



かりんと工場



加工所全景



大分県の一村一品女性グループ

トマトケチャップ工場



一村一品単価比較

乾椎茸(冬菇)^{どんこ} 100g 3,000JPY 28USD

焼酎 100g 240JPY 2.3USD

ハウスミカン 100g 300JPY 2.8USD

自動車 100g 200JPY 1.9USD

1.5トン:300万円 28000USD

JICA 流アフリカー村一品運動

JICA は、アフリカの一村一品運動を以下の3つの視点から進めています。

- ① 村の自立と女性のエンパワースメント
- ② 貧困撲滅対策
- ③ 人間の安全保障

アフリカー村一品運動事紹介

- ・マラウイー村一品運動
- ・ガーナ シアバター

マラウイ版一村一品運動とは ～*One Village One Product; OVOP*～

コミュニティで入手可能な資源に

付加価値を与えて

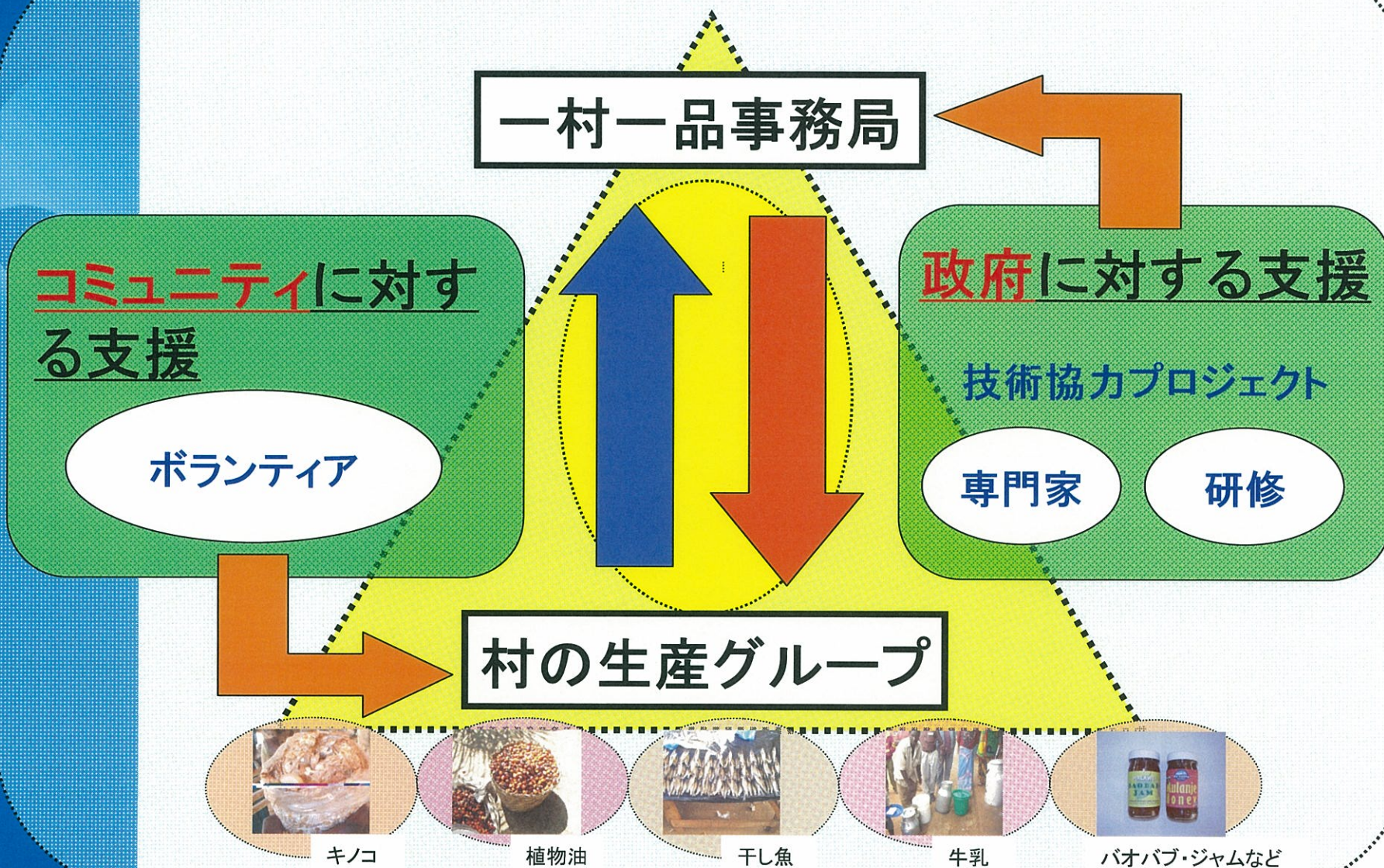
製品やサービスを開発すること

*Development of products or services through value-adding
by communities using locally available resources in a designated area*



Towards Economic Empowerment of the People

マラウイー村一品プログラム



マラウイ版一村一品グループとは

① 主なルール

- ・ **コミュニティ中心**の活動であること
- ・ コミュニティで入手可能な資源を、環境に配慮した方法で活用していること
= **地産地消型**
- ・ **経済的自立**を想定した活動であること
- ・ 貧困層への裨益という視点を有し、**コミュニティ全体の経済的強化**につながる活動であること